

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【公開番号】特開2012-136491(P2012-136491A)

【公開日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-028

【出願番号】特願2010-291510(P2010-291510)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/196	(2006.01)
A 6 1 K	31/19	(2006.01)
A 6 1 K	31/167	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/44	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/196
A 6 1 K	31/19
A 6 1 K	31/167
A 6 1 P	19/00
A 6 1 P	29/00
A 6 1 K	47/44
A 6 1 K	9/10

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月6日(2013.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記成分(a)~(f)を配合することを特徴とするウフェナマート含有皮膚外用剤。

(a)ウフェナマート

(b)グリチルレチン酸又はそのエステル

(c)リドカイン

(d)油分

(e)非イオン性界面活性剤

(f)水

【請求項2】

前記非イオン性界面活性剤が、グリセリン脂肪酸エステル、ポリグリセリン脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンミツロウ誘導体、ポリオキシエチレンヒマシ油、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンアルキルエーテルリン酸塩、ポリエチレングリコール脂肪酸エステル、レシチン誘導体、ジメチルシロキサン・メチル(P O E)シロキサン共重合体、ポリエーテル変性シリコーン、アルキルグリセリルエーテルから選択される1種又は2種以上であることを特徴

とする請求項1記載のウフェナマート含有皮膚外用剤。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

すなわち、本発明は、下記成分(a)～(f)を配合することを特徴とするウフェナマート含有皮膚外用剤を提供するものである。

(a)ウフェナマート

(b)グリチルレチン酸又はそのエステル

(c)リドカイン

(d)油

(e)非イオン性界面活性剤

(f)水

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

さらに、本発明は、前記非イオン性界面活性剤が、グリセリン脂肪酸エステル、ポリグリセリン脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンミツロウ誘導体、ポリオキシエチレンヒマシ油、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンアルキルエーテルリン酸塩、ポリエチレングリコール脂肪酸エステル、レシチン誘導体、ジメチルシロキサン・メチル(POE)シロキサン共重合体、ポリエーテル変性シリコーン、アルキルグリセリルエーテルから選択される1種又は2種以上であることを特徴とする上記のウフェナマート含有皮膚外用剤を提供するものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

「(e)非イオン性界面活性剤」

本発明に用いる非イオン性界面活性は、以下に示す非イオン性界面活性剤の1種又は2種以上がより好ましく使用される。

例えば、ソルビタン脂肪酸エステル類(例えば、ヤシ油脂肪酸ソルビタン、モノオレイン酸ソルビタン、セスキオレイン酸ソルビタン、トリオレイン酸ソルビタン等)；グリセリン脂肪酸エステル類(例えば、ステアリン酸グリセリル、ミリスチン酸グリセリル、イソステアリン酸グリセリル、オレイン酸グリセリル等)；ポリグリセリン脂肪酸エステル類(例えば、モノステアリン酸ポリグリセリル、モノオレイン酸ポリグリセリル、モノラウリン酸ポリグリセリル、ジステアリン酸ポリグリセリル、トリステアリン酸デカグリセ

リル、トリオレイン酸ポリグリセリル、ペニタステアリン酸デカグリセリル、ペニタオレイン酸デカグリセリル、ヘプタステアリン酸ポリグリセリル、デカステアリン酸ポリグリセリル、デカオレイン酸ポリグリセリル、縮合リシノレイン酸デカグリセリル等) ; プロピレングリコール脂肪酸エステル類(例えば、モノステアリン酸プロピレングリコール等) ; POEヒマシ油類 ; POE硬化ヒマシ油類 ; グリセリンアルキルエーテル ; POEソルビタン脂肪酸エステル類(例えば、POEヤシ油脂肪酸ソルビタン、モノステアリン酸POEソルビタン、モノオレイン酸POEソルビタン等) ; POEソルビット脂肪酸エステル類(例えば、モノラウリン酸POEソルビット、テトラステアリン酸POEソルビット等) ; POEグリセリン脂肪酸エステル類(例えば、モノステアリン酸POEグリセリル、POEオレイン酸グリセリル、トリイソステアリン酸POEグリセリル等) ; ポリエチレングリコール脂肪酸エステル類(例えば、モノラウリン酸ポリエチレングリコール、モノステアリン酸ポリエチレングリコール、モノオレイン酸ポリエチレングリコール、ジステアリン酸エチレングリコール等) ; POEアルキルエーテル類(例えば、POEラウリルエーテル、POEセチルエーテル、POEオレイルエーテル、POEステアリルエーテル、POEベヘニルエーテル、POE-2-オクチルドデシルエーテル、POEコレステノールエーテル等) ; プルロニック型類(例えば、プルロニック等) ; POE・POP-アルキルエーテル類(例えば、POE・POP-セチルエーテル、POE・POP-2-デシルテトラデシルエーテル、POE・POP-モノブチルエーテル、POE・POP-水添ラノリン、POE・POP-グリセリンエーテル等) ; テトラPOE・テトラPO-P-エチレンジアミン縮合物類(例えば、テトロニック等) ; POEミツロウ誘導体類(例えば、POEソルビットミツロウ等) ; POEラノリン誘導体類(例えば、POEラノリン、POEラノリンアルコール等) ; アルカノールアミド(例えば、ヤシ油脂肪酸ジエタノールアミド、ラウリン酸モノエタノールアミド、脂肪酸イソプロパノールアミド等) ; POEステロール類(例えば、POEフィットステロール等) ; POE水素添加ステロール類(例えば、POEフィットスタノール等) ; POEプロピレングリコール脂肪酸エステル類；POEアルキルアミン類；POE脂肪酸アミド類；ショ糖脂肪酸エステル類；アルキルエトキシジメチルアミンオキシド類；トリオレイルリン酸類；レシチン誘導体類；ジメチルシロキサン・メチル(POE)シロキサン共重合体；ステアロイル乳酸ナトリウム；アクリル酸・メタクリル酸アルキル共重合体；ポリエーテル変性シリコーン類；POEアルキルエーテルリン酸類(例えば、POEラウリルエーテルリン酸等)；POEアルキルエーテルリン酸塩類(例えば、POEオレイルエーテルリン酸ナトリウム、POEセチルエーテルリン酸ナトリウム等)等が挙げられる。

特にグリセリン脂肪酸エステル、ポリグリセリン脂肪酸エステル、ソルビタン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンソルビット脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンミツロウ誘導体、ポリオキシエチレンヒマシ油、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンアルキルエーテルリン酸塩、ポリエチレングリコール脂肪酸エステル、レシチン誘導体、ジメチルシロキサン・メチル(POE)シロキサン共重合体、ポリエーテル変性シリコーン、アルキルグリセリルエーテルから選択される1種又は2種以上の非イオン性界面活性剤は好ましい。